

福山都市圏交通円滑化総合計画の概要

目的：渋滞緩和・地球温暖化防止

対象圏域：福山市、尾道市、府中市、笠岡市、井原市

短期目標(2003～2007年度)：ピーク時における主要8方面から福山市中心部までの所要時間短縮

都市圏全体にモビリティ・マネジメントの考え方を包括的に導入

主体施策：「ベスト運動」 持続のための仕組み(受け皿)

ピーク時渋滞緩和を行うための主体施策として、ノーマイカーデーを中心とした通勤交通対策等を実施

2006(H18)年1月 備後のCO₂削減「ベスト運動」

Bingo Environmentally Sustainable Transport
(備後地域における) (環境に配慮した) (持続可能な) (かしこいクルマの使い方)

月に1回以上 自由な方法で エコ通勤



ベスト会員(市民)

- 月に1回以上 エコ通勤
- ベスト運動への参加状況を報告
- 抽選でプレゼント

楽しみながら
エコ通勤を継続

協賛企業

- 企業の社会的責任(CSR)
- 参加者特典原資となる協賛金出資
- 従業員への運動告知

地域・社会貢献とその広報効果

委員会(行政)

- 仕組みづくりと検証改善
- 会員確保・参加増に向けた広報実施
- 運動全体のマネジメント

渋滞緩和と
環境改善の達成

地元FM局

- 既存の特典運用システム
- 既存FM会員への運動告知
- 地域の活性化に寄与

会員増加
中心市街地再生

意識・行動変化を促すための施策



道路情報板の活用



小学校TFP(2005年度～)



イベントの参加(会員募集)



企業・居住地TFP(2006年度～)

参加しやすい環境づくりのための施策



中心部レンタサイクル(2006年7月～)



中心部ループバス(2008年度予定)



交通情報提供システム(2007年6月～)

《おでかけふくやマップ》

<http://odekake.fukuyamap.jp/>



ベスト運動の効果

円滑化による効果 (2003～2007年度)

渋滞損失時間；200万人時間/年削減

CO₂排出量；11千t-CO₂/年削減

福山市を中心とした主要8方面における実態調査結果より算出

ベスト運動効果 (2006.1～2008.3)

約3割 → 60万人時間/年削減

約6割 → 7千t-CO₂/年削減

ベスト運動の参加報告より同主要8方面における効果を算出

費用対効果

B / C

7